



まつもと じゅん

中・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



令和2年5月1日号

発行

かながわ

1区支部

発行責任者

平木 茂

5月号

2020年

No.209

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

感染拡大防止に努め、医療崩壊を防ぐために

新型コロナウイルス感染対策 神奈川県医師会会長からの緊急メッセージ

新型コロナウイルスの蔓延拡大、皆様ご心配のことと思います。神奈川県医師会会長 菊岡正和氏が県民向けに大切なメッセージを出されました。

現場の医師の立場から現状を判断し、伝えたいことをまとめた素晴らしい声明です。紙面の都合上、一部だけ紹介させていただきます。

声明文ではマスメディアの間違った報道を否定し、PCR検査の感度は70%程度しかなく、偽陰性（本来感染しているのに陰性になる）リスクや不要な検査による二次感染リスクなどにも言及され、安易な検査が医療崩壊を招くと危惧されています。二次感染を防止するためには一人の患者さんごとに30分から1時間の消毒が必要であることについても述べられています。また、医療従事者の現状についても述べられ、最後に一緒に戦いましょうとしています。ぜひ原文をご覧ください、ご協力いただければ幸いです。

また、政府は新型コロナウイルスお役立ち情報を改善し、更新し続けています。できるだけ多くの皆様の疑問や不安に対応すべく、政府と党が一丸となり、対応を進めています。

皆様へのお詫びとお願い

現在、松本純事務所も新型コロナ対策のため、リモートワークに切り替え、秘書なども極力自宅に対応するようにいたしております。また、松本純も極力東京に詰める形で、皆様のご要望を政治に反映すべく頑張っております。このため、直接うかがうことができず、至らぬ部分が生じると思われそうですが、何卒、ご了承ください。

神奈川県民の皆様へ～（神奈川県医師会からのお願い） あなどらないで

新型コロナウイルス感染に関する連日の報道で、「親も子供もストレスで大変です」とマスコミが取り上げています。だから、ストレス発散のために、外出したいという気持ちもわかります。

爆発的な感染拡大に若い人たちに危機感はないのは当然かもしれませんが、若い人は感染しても比較的軽症ですむケースが多いからです。しかし現実には若い人でも、重症化して一定数以上は死亡するのです。もし、自分の知り合いの人がコロナ感染症で亡くなったらきっと哀しいはず。そして、亡くなった人にうつしたあなたが、入院せずに軽度ですんでも本当に喜べるでしょうか。不用意に動き回るといことは、その可能性を増やしてしまうことなのです。今は我慢する時なのだとすることを、ぜひ理解してください。出来るだけ冷静に、そして自分を大切に、そして周囲の人を大切に考えてください。（以下略※以下のURLで全文掲載）

https://kanagawa-med.or.jp/images/about_coronavirus.pdf



松本純は、コロナ感染影響を受けて国会機能が低下しないよう、全力で国会を守っています！

いま地域で
(人・まち・出来事)

横浜でパークゴルフを楽しみましょう

横浜市パークゴルフ協会副会長兼事務局長 鈴木 進一さん(金沢区)

「パークゴルフ」をご存知ですか？ ゴルフのミニコース版、用具はクラブ1本とボール1個、それにボールを置くティだけです。重装備のゴルフバックは不要、自然の中で、散歩感覚でゴルフを楽しめるとあって、今や世界12カ国130万人に愛されるスポーツとなっています。「夫婦一緒に楽しめるスポーツとして3年前から夢中になりました」と語るのは、金沢区釜利谷地区在住の鈴木進一さん(70歳)。パークゴルフの魅力は「健康づくりを兼ね、家族や友人、仲間たちと笑顔でコミュニケーションが楽しめること」。さらに公益社団法人・日本パークゴルフ協会傘下の協会に入会すれば各種大会に参加することができ、会員でなくても予約なしで気軽にプレーを楽しむことができます。ところが、鈴木さんが残念に思ってきたのは、横浜市内にパークゴルフ場がないことでした。他地区に出向くばかりでは、地元横浜の仲間たちとの輪が広がらない…。そんな思いから鈴木さんは、昨年12月、一念発起して「横浜市パークゴルフ協会」を設立させたのです。「横浜の人にもまちも元気な笑顔に溢れてほしい」との思いに賛同した会員は現在37名。「夢は全国大会ができる公認コースを建設し、横浜で全国大会を開くこと」と語る鈴木さんはこう呼びかけます。「ぜひ一緒に横浜でパークゴルフを楽しみましょう」(問合せ/携帯090-6518-7588 鈴木まで)



鈴木進一横浜市パークゴルフ協会事務局長

【2020年4月】

松本議員の活動記録

1日●国会对策正副委員長打合せ

- 議院運営委員会与党理事懇談会
- 厚生労働省説明(新型コロナウイルス感染症対策について)
- 日本製薬団体連合会説明

2日●本会議(東京オリパラ大会延期報告質疑、他)

- 横浜市副市長挨拶
- 厚生労働省説明(情報通信機器を用いた服薬指導の取り扱いについて)

3日●内閣府説明(科学技術基本法について)

- 本会議(5 G法案、デジタルプラットフォーム法案趣旨説明・質疑)
- 故黒川澄夫元市議弔問

6日●財務省説明(緊急経済対策(仮称)における税制上の措置について)

- 厚生労働省説明(新型コロナウイルス治療薬、ワクチンの状況について)

14日●本会議(国民年金法、対案趣旨説明・質疑、他)

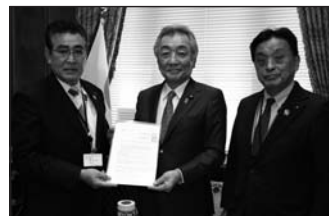
16日●本会議(国家公務員法趣旨説明・質疑、他)



3/28 松実会 ●松本純代議士は新型コロナウイルス感染防止対策について「感染拡大しないこと、もしかかってしまっても治療、回復対応が出来る医療体制の充実に努力したい」と挨拶しました。



4/1 柴水神祭 ●本来は熊野神社末社で行われますが、雨天のため柴支所で富岡八幡宮・佐野主水宮司による神事が行われ、小山雄輔横浜市漁業協同組合柴支所長や組合員の方々と祈願しました。



4/10 JA神奈川県厚生連要請 ●県厚生農業協同組合連合会の高野靖悟代表理事等から「新型コロナウイルス患者受入医療機関に対する支援について」の緊急要請を受け、政府の取組を説明しました。



4/11 蔣公頌徳碑移設工事奉告祭 ●伊勢山皇大神宮創建150周年事業にあたり戦後、県日華親善協会が建立した蔣介石氏を顕彰した蔣公頌徳碑の移設工事が行われ、奉告祭が執り行われました。

永田町日記

一世帯2枚のマスクを配布しています

新型コロナの蔓延により、皆様には大変ご不便をおかけしております。特にマスクとアルコール消毒液などの不足に関して、ご心配をおかけしております。使い捨てマスクに関しては、設備投資に対する助成により、国内生産を進め、これまでの3倍量以上の国内生産ができる体制となりましたが、それでも海外からの輸入が難しい状態が継続しています。

このため、老人施設や小中高(学校)に対しては、洗って使える布製マスクを配布し、その上で現在できる最大限の生産量となる一世帯2枚のマスクを配布することを決めました。これは一般の方を守るとともに感染リスクの高い医療従事者に優先的に使い捨てマスクを届けるための方策です。また、国内各社も増産に応じており、若干時間を頂きますが、品薄感は解消される見込みです。

そして、アルコール消毒液に関しては、従来量の2倍以上の生産を確保しております。また、規制を緩和し、異業種などでも製造販売できる体制を作りました。大手医薬品メーカーが従来量の20倍の生産を開始しており、こちらは早い段階で改善される見込みとなっています。